

## 摘 録

会 議 名 令和4年度第1回刈谷市文化財保護審議会

日 時 令和4年4月21日（木） 午前10時00分～午前11時30分

場 所 刈谷市歴史博物館講座室

出 席 者 委員：山田孝、鈴木達夫、松原啓治、渡部貫道、真島聖子、川崎みどり（敬称略）  
事務局：近藤和弘（市民活動部長）、鷹羽和久（文化観光課長）、田代英徳（歴史博物館長）、中尾理恵（歴史博物館館長代理）、鶴飼堅証（歴史博物館専門員）、永井優香子（歴史博物館学芸員）、野村啓輔（歴史博物館学芸員）

内 容

### 1 あいさつ

事務局に異動があったため、紹介

委員任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

### 2 議題

#### （1）会長の選任について

刈谷市文化財保護条例第38条の規程に基づき、委員の互選により、山田委員が会長に就任した。

同条3項の規程に基づく職務代理者は、松原委員が指名を受けた。

#### （2）令和4年度刈谷市文化財保護審議会開催計画について

本年度の審議会開催は5回とする旨、事務局より提案し、了承を得た。

#### （3）県内・県外研修の開催について

今年度は、県内研修とした。候補4コースのうち、瀬戸市コース（古窯の保存活用についての視察）に決定した。

#### （4）令和4年度文化財保護関係事業計画について

##### 【国指定文化財保護増殖事業】

（A委員）愛知県の文化財保護委員の活動の中で、小堤西池のカキツバタ群落等、記録写真を撮影しているものがあるので、歴史博物館で適切に管理していただきたい。

（B委員）開発によって破壊される自然環境にも目を向けたい。

##### 【文化財保存管理事業】

（A委員）市指定文化財「鉄錆地塗紺糸緘塗込仏胴具足・尉頭形兜」の名称について、本来は「栗皮色塗紺糸威塗上仏胴具足」とするのが正しいのではないかという意見を聞いている。

（事務局）今年度原稿作成する修復報告書の中で、研究を進めていく予定である。

##### 【史跡めぐり開催事業】

（A委員）ふるさとガイドボランティアの高齢化により、定点ガイドで行ったと聞く。やはり史跡めぐりとしては、参加者と歩いて交流することが肝要であるので、留意してほしい。

##### 【全体を通して】

（A委員）古い仏像等だけでなく、昭和期の一般の民家や商店街でも、100年後には文化財となりうるので、留意してほしい。

（B委員）「昭和レトロ」という言葉を耳にするようになってきた昨今、そういった「(かわいい)レトロ」の経験を小学生にさせることで、刈谷の魅力や、価値の再発見ひいては刈谷市

への愛着につながると思う。

(5) 市指定史跡 井ヶ谷古窯群 分布調査結果について

(事務局) 市指定史跡「井ヶ谷古窯群」の分布調査を令和3年度に実施した。市指定31基の古窯のうち、遺物を回収できた箇所もあったが、滅失・埋没してしまったものが多い。

(A委員) かなり失われてしまった部分があるので、今後の保存のためにも、調査を進める必要がある。

(事務局) また現在遺跡として確認している箇所以外にも、土器が散在している箇所があると聞く。今回蜂等により調査できなかった部分もあるので、引き続き調査は行っていきたい。

(6) 市文化財の指定等について【非公開】

### 3 事務連絡

(1) 次回日程について

6月30日(木)に、松根第3号窯を視察し、北部生涯学習センターで審議を行う。詳細な時間・集合場所等は、視察先の施設担当者を確認をとった上で、追って連絡をする。

以上